

Medical Guide

読者からの質問「不妊治療の最先端医療」についてお答えいただきます

Q 妊娠のしくみを学ぶ
読者からの質問の中から「不妊治療夫婦の親御さんができること」についてお答えします。

Q 結婚2年目、妻29歳、夫30歳の夫婦の嫁の母です。私たちが家族はみんな、子ども好きのため、娘夫婦は早々にプライマルチエックを受け、不妊治療も1年間受けましたが、AMH(卵巣年齢)が40歳相当だと診断され、体外受精を勧められました。治療費が高額になるため、お金が貯まってきたと一端は考えをまとめたようですが「なるべく早く受けないと、妊娠の確率がさらに下がる」と言われ泣いています。嫁ぎ先のご両親や親戚からは何も言われていないようですが、子作りにおいては欠陥のある娘を嫁がせてしまったという辛さ。私も早い出産、若いうちの子育てが望ましい事はわかっていますが、嫁に出した娘ですから余計なこととも言えず、どうしていいか、頭から離れません。親にできる事はあるのでしょうか。

A 確かに、体外受精は全般的に高額になります。体外受精を操作する胚培養士の資格が特殊なために、人員確保が非常に難しいこと。体外受精の技術料、使用する器具や薬剤も特殊生産なうえ、消毒による再使用が

できないため、全てが使い捨てになること。排卵誘発に使用する注射や薬剤の効果、採卵手術を決定する目安となるホルモン検査も必要になります。通常行われる体外受精の経過観察においての診療も、保険外扱いとなり自費となります。

【取材協力】



小埜 清 先生
医療法人 小埜医院
つくばARTクリニック 理事長

昭和46年茨城県立水戸第一高等学校卒業、昭和52年北里大学医学部卒業、同医学部産婦人科教室に入局。53年慶応大学医学部産婦人科教室に入局。芳賀赤十字病院、東京歯科大学の勤務を経て、57年オーストラリア・モナッシュ大学で不妊症を研究。60年慶応大学医学部産婦人科教室・飯塚理八教授のもとで人工授精、体外受精のための精子調整法、パーコール法などについて研究。現在、不妊症治療、「新酸・アルカリ法」による男女生み分け治療のほか、ホルモン補充治療法(HRT)や漢方を用いた更年期障害の治療にも研鑽を積んでいる。



- 【著書】
●「男の子と女の子を産み分ける」(新星出版社)
●「男性不妊を治す」(新星出版社)
●「更年期とのつきあいかた」(新星出版社)
【ビデオ】
●「いのち」(当院オリジナル版)

では、親御さん何ができるのか、何をしてあげられるのか「ですが、答えは、精神的支えと金銭的援助になります。まず、本人たちは助成金制度を活用してください。そして、あまり知られていませんが、「結婚・子育て資金の一括贈与」という制度があります。これらは特例として、贈与税が非課税になります。たとえば、「婚礼」「家賃」「出産」「妊婦健診」

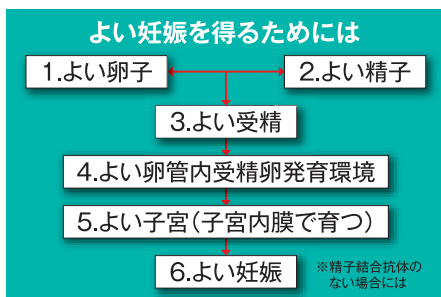
など結婚や子育てに関する資金や医療費が適用します。さらに「人工授精」「体外受精」「顕微授精」など一般的な不妊治療にかかる費用(性別、保険適用の有無などは関係ない)も含まれます。これらは、双方の両親に適用されます。しかし、独立した世帯の娘さん、息子さんから親御さんに金銭援助は頼みたくないもの、出来る限りしたくないというのが本音でしょう。

しかし、親御さんとしても出すことで非課税になりますからその方が実は助かるのです。お互いのメリットがある制度ですから、よく話し合ってみてください。

母体の卵巣中卵子は36歳から老化が急ピッチに進みます。ですから、決断は早ければ早いほど良いのです。逆に言えば、遅れば遅れるほど可能性が減って行き、治療費が増えて行きます。若夫婦でお金を貯めている余裕などありません。親御さんにも孫と遊べる若さがあるうちに、誰よりも若夫婦の幸せ

を祈っているご家族で相談ください。

※次号も読者からの質問にお答えします。



を祈っているご家族で相談ください。



医療法人

小埜医院

こばなわいん
理事長 小埜 清

〒311-3435 小美玉市田木谷169-3

☎0299-58-3185

http://www.ivf-ibaraki.or.jp

Mail:kobanawa@ric.hi-ho.ne.jp

- ◆診療科目 産婦人科(不妊治療)
内科
小児科
泌尿器科
- ◆診療時間 月・火・木・金・土 9:00~17:00
第2・4日 9:00~12:00
- ◆休診日 水曜・第1・3日曜・祝日

予約受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~11:30	○	○	休	○	○	○	△ 第1・3日曜
14:30~16:30	○	○	休	○	○	○	休

※初診の患者様については、午前中は11時まで、午後は16時までの受付となります。



車でご来院の方
常磐自動車道「千代田石岡IC」から、国道6号線を水戸方面に向かい、「山王台」交差点を国道355号線へ右折。千代田石岡ICから約10kmです。

電車でご来院の方
JR常磐線石岡駅からタクシーで約15分

休んだり、考えたりしても状況は変わりません。要領よく病院を利用して妊娠しましょう。